

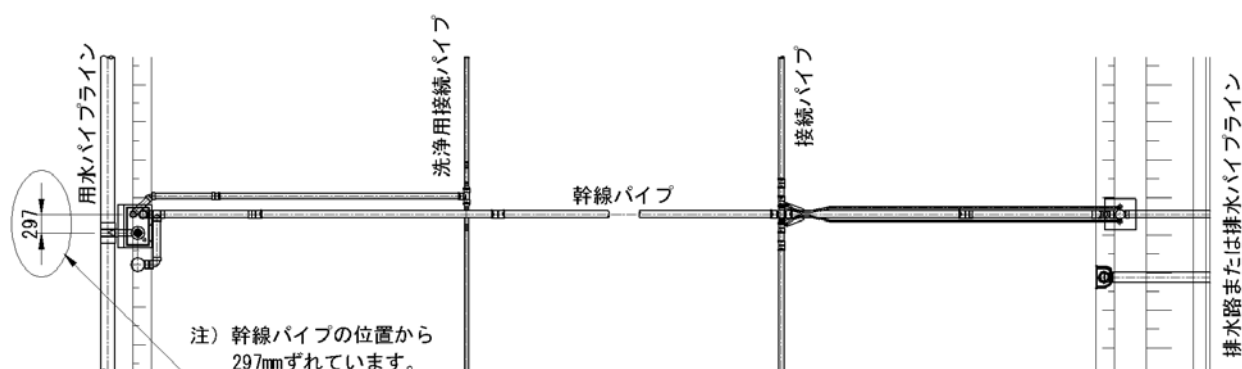
## 用水パイプラインの給水栓分岐および落水柵と FOEAS の位置調整について

株式会社パディ研究所

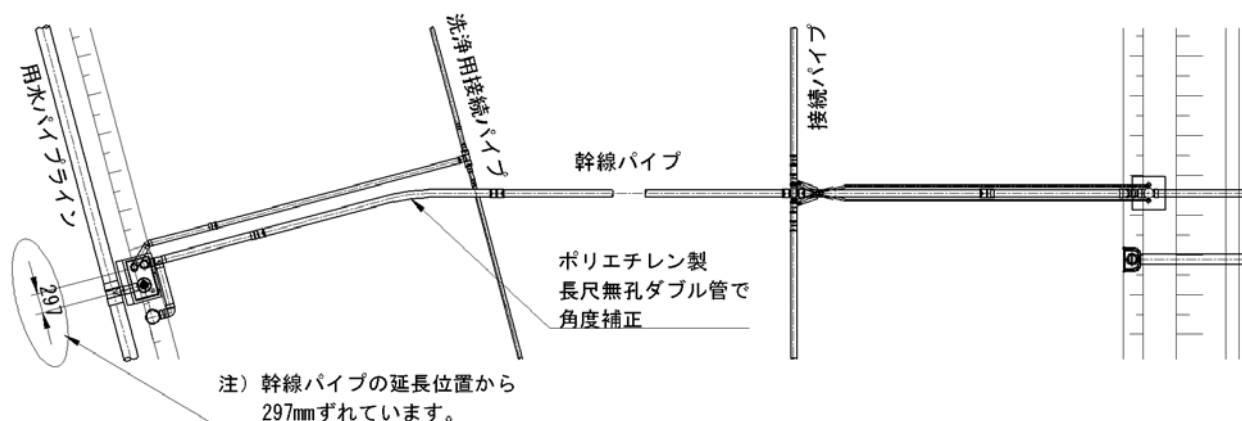
FOEAS 工事において、用水パイプラインの給水栓用分岐位置とフォアス柵、落水柵と水位調整器の位置が合わず、施工が非常に困難なことがある。この原因は、圃場整備と同時に FOEAS を施工する場合に、施工業者が異なることなどにあり、あらかじめフォアス柵や水位調整器の位置を決定しておく必要がある。このことから、実施設計を含めた工程を以下のとおりとし、用・排水水路施工後に行う、フォアス工との調整を図る。

- ① 基本設計に合せた現地測量を行う
  - ② 圃場面の凹凸が著しい場合は、荒整地を行う。
  - ③ 正確な区画割りを帳張りなどで、現地に示す。(畦畔や道路の施工がすでに行われていることが望ましい)
  - ④ 現地の区画割りをもとに、FOEAS 用図面作成のための測量を行う。
  - ⑤ 測量の結果を基に、FOEAS の詳細設計を行う。(一般的には、FOEAS の認定施工業者に依頼をする)
  - ⑥ 詳細設計をもとに、FOEAS の確実な施工位置を現地で決定する。
- ※) 全ての工程で、監督員との打合せ調整を行うこと。

また、現実に下図のような事例もあることから、分岐位置の決定に注意を図る必要がある。特に、非整形田の場合は、幹線パイプの延長線と給水栓分岐が異なる場合もあることから注意を要する。



整形田の場合



非整形田の場合